

なごろう

議会だより

10月
2014 vol.135



9月 定例会

白岩市長、災害復旧に全力の船出 復旧防災関連に10億5,667万円余り投入

9月定例会は9月1日〜19日まで開催されました。報告1件、同意案2件、条例その他案2件、補正予算案6件、決算認定案9件、計20件をすべて可決しました。

7月の豪雨災害を経ての定例議会となり、災害復旧や治水対策関連の質疑が多く出され活発に議論されました。

一般質問は10名の議員が2日間にわたり行いました。今回は白岩新市長のマニフェスト施策、災害対策、被災者の救済、老人の交通手段の確保、人口減少対策、新文化会館の総額工事費、消防団員の処遇改善等々の課題について当局の考えをいただきました。

予算特別委員会

財政調整基金に 2億8657万円積立

予算特別委員会は11日に開催。補正の総額は3億5890万円。補正の主なものは、25年度決算余剰金より財政調整基金に2億8657万円を積み増し。

災害復旧及び防災関連に4067万円。豪雨災害発生から2度の専決処分がなされ、今回の補正と合せ復旧防災関連に10億5667万円余り投入される。質疑では昨年

に続き

2度の災害にあったことから、復旧工事は迅速に進めることや、異常気象を充分に考慮して工事計画することなど強い要望が出された。(3頁補正予算ここに注目をご覧ください)

決算特別委員会

25年度決算特別委員会は16日に開催。歳入の総額は180億2033万円。歳出は158億3336万円。次年度へ継続して繰り越す事業費を差し引いた実質収支は5億7315万円となる。なお、

25年度決算特別委員

財政調整基金の25年度末の残高は7億6249万円。また、財政健全化判断比率の実質公債費比率は14.4%で前年度比2.5ポイント改善された。将来負担比率144.6%で前年度比7.5ポイント増。

一般質問は10人 同じ徹を3度踏ま ない治水対策を!

一般質問は2日間にわたり、吉田美枝、片平志朗、川合猛、山口正雄、高橋一郎、田中貞一、白鳥雅巳、板垣致江子、高橋一司、佐藤明議員の10名が行った。2年続きの豪雨災害をうけて災害対策、治水対策、防災計画、避難のあり方等に関する質問が多く出された。また、白岩新市長の市政運営に対する考え方など問いただした。

常任委員会付託審査

手話言語法制定を求める請願を採択

文教厚生常任委員会での審査結果は「保育の実施に関する条例の廃止」議案を可決。「手話言語法制定を求める請願」は採択した。

「米価の下落」と「過剰米の処理を求め」2 請願を採択

産業建設常任委員会には市道認定議案(2路線)1件、請願「農政改革の再検討と緊急

の過剰米処理を求める請願」と「米価下落等に関する請願」2件が付託された。また、継続審査となっていた「雇用の安定を求める請願」を再審査し、全て可決と採択を決めた。(常任委員会審査報告14〜15頁をご覧ください)



作況指数「やや良」も米価は下落

南陽の雪まつり事業補助金

75万円

商工会青年部が中心となり、冬季イベントが少ない当市を元気にするため、花火大会等を企画するものです。

市道除雪委託料

2,440万円

ここ数年の燃料費の高騰及び人件費のアップ等に則して補正するもので、26年度の除雪費予算総額は1億5,000万円となります。

26年度
一般会計補正予算
3億5,890万円
ここに
注目★

双松公園の西側急傾斜地（菖蒲沢側）の土砂崩れを復旧するための工事を行うものです。

300万円

双松公園災害防止工事

宮内小学校周辺通学路の安全を図るため、有蓋側溝の布設をするものです。

1658万円

宮内町の市道改良工事

非常時の通信を容易にするため、吉野、中川各公民館及び荻中川各小学校に簡易アンテナを設置するものです。

48万円

防災行政無線整備

その他の主な事業

☆財政調整基金積立金	2億8,657万円
☆番号法導入システム構築委託料	1,106万円
☆防犯灯電気料補助金	124万円
☆赤湯駅北駐車場用地購入	183万円
☆健康長寿センター循環ろ過装置改修	401万円
☆非常時消防団報償費	300万円
☆防火貯水槽修理	52万円
☆市民体育館施設防犯カメラ設置	100万円
☆花公園遊具等修繕	148万円

菖蒲沢河川改修工事

745万円

豪雨出水により越水した菖蒲沢川の狭隘部分について、河川改修を行うものです。



菖蒲沢川の氾濫

一般会計補正予算の質疑要旨 防災座談会の意見等を集中審議

予算特別 委員会

川合 猛 議員

側溝の蓋開け器具を市内各地区に

◎側溝の泥上げをしたいが、開けられない。蓋開け器具を市内8地区に配備を望む。

〈建設課長〉

市保有は5台だが倍増したい。維持管理は建設課が良いと思うが検討する。

市営関口住宅トイレの改修を

◎床下浸水によりトイレの被害があった。トイレの汲み取り口と水路の改修を。

〈建設課長〉

トイレ汲み取り口のかさ上げは直ちに行う。農業用水路は通常時は問題ないが検討する。

中川地区1級河川前川の改修を

◎今般の豪雨で大洞地区が孤立。台風の大雨でも被災する。期成同盟

盟会を結成して改修を図りたいがお力添えを。

〈建設課長〉前川は地形的に勾配が少ない。河川自体に災害はない。期成同盟会ができればともに取り組む。

松山 利美 議員

農地の土砂を捨てる場所の確保を

◎境界もわからないほど大量の土砂が農地に流入した。捨てる場所。

〈建設課長〉

河川掘削の土砂捨て場は確保しているが、農地は個別に相談をお願いしたい。

高齢者の災害情報

◎街から離れたお年寄り世帯への災害情報として防災ラジオなどの検討をしているか。

〈危機管理課長〉

地区長へ防災ラジオを配る



予定をしているが、お年寄りへの対応については、今後、他の手法も含めて総合的に検討したい。

佐藤 明 議員

今般の被害総額と市の負担額は

◎国、県補助金の額と市の持ち出しは。財調から支出するが、他の事業に影響はないか。

〈企画財政課長〉

発注しないと確定しないが予算総額は10億1600万円。主な内訳は国県補助2億4900万円、地方債2億6700万円、一般財源4億7600万円。地方債返済は年1000万円程度で財政上軽微と思うが影響はある。

吉田 美枝 議員

山の倒木の撤去処分をどうするか

◎河川の中だけでなく山林の倒木が数多く残っている。処分は。

〈建設課長〉立木の所有者が処分をするのが基本。山の市道については地元の方とご相談していきたい。

雨量計を増やすことは確約できるか

◎一般質問でも話したが、雨量計を吉野地区に増やすことを確約してほしい。

〈危機管理課長〉

県に要望はしていくが、インターネットでつなぐとなると1000万円以上になり確約はできない。



金山の雨量計

田中 貞一 議員

根本的には砂防ダムが必要だ

◎水害からの根本的解決には吉野川、織機川とも上流に砂防ダムの建設が必要だ。

〈市長〉

砂防ダムの有効性を検証して良い方法をとっていく。

最上川合流地点の川ざらいの計画は

◎吉野川下流の最上川合流地点の川底が極めて浅くなっている。川ざらいの計画は。

〈建設課長〉

国直轄1.9kmの河泥撤去は今年度行うが、20万m³の土砂捨て場の確保で地元と協議している。

片平 志朗 議員

菖蒲沢川の改修は

◎菖蒲沢川は鋭角に曲がり、川の断面も小さいが現状復旧のみの工

事なのか。

〈建設課長〉復旧ではなく一定の拡幅をして、スムーズに流れるように改修する。

河川内流木の処理と流さない方策は

◎河川内の流木はまだまだ放置されている。山からの流木を出さないための方策は。

〈建設課長〉県管理河

川内流木は順次撤去している。立木の所有は私有物なので山から出さなくするのは簡単ではなく、全国的な問題は、全国的な問題。

用水路の水門が支障になっている

◎用水路の不要な水門に流木がひっかかり溢水する。上無川の水門は撤去して難を免れた。〈農林課長〉不要な水門はあると思う。

高橋 篤 議員

縦割り行政の打破

◎被害者は役所のどの部署に相談したらいいかわからない。特に災害時はたらい回しのないように。

〈総務課長、危機管理課長〉そうならないように態勢づくりをする。

高橋 一郎 議員

沢の倒木は細断を

◎沢の倒木の処理は、細断して橋脚にひっかからないように。

〈建設課長〉即答はできないが、県とも協議して検討していく。

危機管理体制の人的な充実強化を

◎国、県、市の防災関係の退職者を嘱託等で



河川内流木

雇用する考えはないか。

〈市長〉そのようにお力をお借りできれば職員負担軽減にもなる。

避難勧告のあり方

◎今般の災害を地区ごとに検証し、自宅2階への避難もいいのでは。

〈危機管理課長〉地区ごとに避難勧告は難しいが住民が避難の選択できるように検討する。

避難所の指定は

◎地区公民館で豪雨に耐えられる所は一時避難所に指定を。

〈危機管理課長〉安全な集会場であれば一時避難所として地区と協定を結びたい。

山林・林業の再生と持続可能な方式

◎山林の再生を含めて治山治水を考えるべき。〈市長〉経済性がなければ山林の管理もできない。経済的合理性のある方法を検討する。

災害関連以外

松山 利美 議員

ふるさと納税は

◎県内で、数倍の伸び率をあげた自治体もある。本市はどうか。

〈企画財政課長〉前年比180%で推移し、お返し分も1.5倍になった。

全国人気ランキング

◎50位に長井市と飯豊町がある。内容は本市とそれほど変わらない。工夫が必要でないか。

〈企画財政課長〉今年度は事業途中なので変更は無理だが、今後前向きに検討する。

田中 貞一 議員

農業支援について

◎環境保全型農業直接支援対策費の計画に対して半分とは実行性が悪い。本市の安全安心な農業に向けた決意は。

〈農林課長〉最終的には596万円。内容は堆肥活用、有機農業、冬季淡水などである。全体的にチェックし、制度の内容趣旨を十分説明し取組拡大に努める。

山口 正雄 議員

災害住宅ローン

◎2年続きの災害にあい、市内に家を建て替えたい方がいる。手厚い助成を。

〈市長〉手厚い助成はなかなかむずかしい。

市役所陸上部

◎市役所陸上部は市民に夢と感動を与える。市長は現有勢力でというが今後の大会は。

〈スポーツ文化課長〉

9月21日白川駅伝、11月3日は東日本実業団対抗駅伝大会に参加。

◎大会に出場する費用は寄付金や協賛金だが

今後集まる見通しは。

〈市長〉見通しは立っていない。陸上部の能力発揮の場であり、南陽ブランドを発信する機会。民間の皆様に応援いただけるよう努力する。

◎それでも集まらない時は市の予算措置が必要なのは。

〈市長〉現段階ではわからないが他の公共団体を参考に対応する。



南陽市役所陸上部

佐藤 明 議員

職員採用は適正か

◎災害対応の技術職員が足りないと思うが市長の見解は。

〈市長〉技術者は足りないと思うが全体的にも財政との兼ね合いも含めて検討する。

◎行政改革で職員も減っているが採用と配置は適正か。

〈総務課長〉条例では401名、配置は315名で86名少ない。平成6〜26年まで100名減。減らしすぎてのサービス低下は避けたい。

医療無償化について

◎医療無償化は中3まで行っている自治体があるが本市はどうか。

〈保健課長〉中3までの要望は多い。小学1〜6年まで4238万円かかる見込み。

◎2年前の試算では、

中3まで4780万円。少し上積みすれば可能。

〈市長〉子育て宣言都市にふさわしい南陽市にしたいと思う。

中小企業支援法は

◎従業員5名以下の中小零細企業を助けるためにある。自治体の責任は重いと考えは。

〈商工観光ブランド課長〉経営発達支援計画を県と連携して事業者支援を基本に据えていく。

◎消費税増税で落ち込む中小零細企業について市長の考えは。

〈市長〉中小企業支援法を活用して対応する。

市営住宅の建設

◎市営住宅の土地購入はどうなっているか。

〈建設課長〉予定用地は開発公社が先行取得している。

◎関口住宅はシロアリや雨漏りがある。建て替えはいつか。

〈建設課長〉建て替えはまだだが一刻も早くできるよう検討する。

白鳥 雅巳 議員

循環バスについて

◎西部バスの利便性が悪い。バスやタクシーのデマンド方式はできないか。

〈市長〉利便性の向上を目指し検討する。



西部バス

〈農林課長〉本市では年間約5人いる。国から新規就農者に対して年150万円を5年間給付する制度がある。

◎新規就農者に農業団地、ハウスでの水耕栽培の取組はどうか。

〈農林課長〉新規就農者は親類などで5年間農業を勉強中。農業団地については研究する。

菊まつりについて

◎菊まつりのPRは。

〈商工観光ブランド課長〉赤湯温泉旅館13軒に中のぼりを3本、大のぼりは2軒に配布。赤湯駅玄関口のタクシープールに大のぼり、中のぼりの設置を準備中。

◎事前の全場面放映はいかがなものか。

〈商工観光ブランド課長〉昨年の反省から一場面のみ許可する予定。放映は開園式、菊花大会では特に注意する。

新規就農者

◎農業をしたい若者や学生もいる。新規就農者に対して市の取組は。

◎河川敷に駐車場を設けないが、高齢者、障がい者の対応は。また、駐車場から出るとき見通しが悪い。カーブミラーの設置は可能か。

〈商工観光ブランド課長〉大型バス、高齢者、障がい者に対応するため出入りの誘導員を考えている。カーブミラーは公安委員会の対応。



赤湯駅前の菊祭りのぼり

トイレ3基、男子トイレ1基を設置し既設のトイレと合わせて対応。

◎招待選手はだれか。

〈スポーツ文化課長〉オリンピック代表選手2名。渋井陽子さんと諏訪利成さん。

◎プロバスケの本市での試合はいつか。

〈スポーツ文化課長〉12月6日、7日に市民体育館で予定。

さわやかマラソン

◎参加者が増えている。仮設トイレが必要では。

〈スポーツ文化課長〉今年は招集場所に女子



2013さわやかマラソン

※デマンド方式……予約に応じ一定地域を不定期に運行する。



決算特別副委員長
高橋 一郎



決算特別委員長
片平 志朗

決算特別 委員会

質疑要旨

佐藤 明 議員

財政運営は

◎財政運営の基本的考
え方と財政力指数が低
い状況をどう打開して
いくのか。

〈市長〉公共資産の効
率的運営、計画的修繕・
管理を図りコストを下
げていく。また、子育
てしやすいまち、高齢
者が暮らしやすいまち
づくりを行い、転入人
口を図っていきたい。
◎財政力指数が0.4%
台下落傾向にある中で
の考え方は。

〈企画財政課長〉改善
は一朝一夕にはいかな
い。財政規律を保ちな
がら今後もやっていく。
◎大きな投資でも、普
通会計だけでやれるよ
うな財政対策が基本で
はないか。
〈企画財政課長〉市民
要望に配慮しながら、

計画的な財政運営に努
めていく。

福祉灯油は

◎今年度の福祉灯油に
ついて聞きたい。

〈福祉課長〉県の制度
設計が出れば、財政と
も相談して対応を考え
ていきたい。

◎市長は、高齢者、障
がい者のために安心し
て暮らせる環境整備を
行っていくという考え
だったがどうか。
〈市長〉県に要望して
いくとともに、市の出
来ることをやっていく。
◎早めに県に要望して、
実現の方向で検討して
ほしい。



国保の法定外繰入 なぜしない

◎県内の国保の法定外
繰入の状況はどうなっ
ているのか

〈保健課長〉25年度は
13市のうち南陽市、山
形市、上市市が法定外
繰入をしていない。

◎県内状況を見ると70
〜80%繰入をしている。
本市はなぜしないか。
〈保健課長〉医療費無
料化を行っている自治
体は国、県の交付金が
カットされ、その補填の
ため法定外繰入を行っ
ている。本市も今後の
検討課題と考えている。

◎本市が遅れていると
言わないような市政
をどうつくるのか。
〈市長〉医療費無料化
は出来るだけ早く実施
できるように調整を
図っていく。法定外繰
入については、意見を
承り対処していく。

板垣致江子 議員

市長の広聴活動は

◎対話のある市政を目
指す上で、どのような
座談会を考えているか。

〈市長〉どのような
くりでやるのかも含め
今後検討していく。

◎是非、市長が市民に
出向いて聞いてほしい。

高橋 一郎 議員

日本初の構造建築 物の調査研究を

◎新文化会館の実施設
計・施工管理に関して
金額的重複はないか。

〈文化会館整備課長〉
実施設計は建設省（現
国交省）告示に基づい
た計算式で計算してい
る。また、工事管理費
は別に発注している。

◎大建設計、シエル
ターの棲み分けと技術
指導料は。

〈文化会館整備課長〉
技術指導料はKES工
法についてのもの。棲
み分けは、シエルター
は木造部分の構造評価
大建設計は全体的な構
造計算を行っている。

〈文化会館整備課長〉

◎日本初の建物で、耐
用年数、劣化等がどう
なるのか。新たな予算
が必要とならないよう
調査研究を。

〈文化会館整備課長〉
出雲ドームは20年以上
経過している。構造的
にしっかりしているレ
ポートもある。大建設
計、シエルターと三位
一体で対応していく。

◎専門委員会の目的、
メンバー、内容は、今
後どうなるのか。

〈文化会館整備課長〉

舞台或いは規模に対し
て、使う側として何が
必要かなどの専門的な
意見を聞き、設計に反
映している。人数は8

7

人で、25年度に12回行っている。26年3月までの任期。但し、プロモーターについては今後も様々な形で協力頂けると思う。



建設中の新文化会館

船山 利美 議員

6次産業推進事業の内容は

◎6次産業推進事業はどのようなことを行っているのか。また、何回行っているのか。

〈農林課長〉啓蒙と研修会を行っている。1次、2次、3次を一同に会しての推進会議を設置した。

◎研修会などは、現場にも反映してほしい。

山口 正雄 議員

ハイジアパークの料金見直しは

◎ハイジアパークの入館料金見直しについて市長の考えは。

〈市長〉取締役会で、

料金も含めて今後の方針を検討して参りたい。

◎ハイジア自前の温泉を掘った場合、かなり

のコスト削減となり、投資効果が高いと思うがどうお考えか。

〈市長〉聖域をつくら

ないで、取締役会でテーブルのせて話合って参りたい。

◎出来るだけ早く経営

が安定するようご検討いただきたい。

住宅補助金の経済効果は

◎子育て応援定住交付金活用で、市外からの転入状況は。

〈建設課長〉市外から

の転入は24年度1件、25年度3件。Uターンは24年度1件、25年度4件。貸家居住者は24年度2件、25年度7件。

◎住宅補助金は県の調査によると、3億6千万円で100億円の経済効果を生み出すとのこと。

本市ではどの程度の経済効果があったか。

〈建設課長〉25年度持

家住宅建設助成金では、24件で総工事費は5億8千800万円となっており経済効果は大きい。

◎益々制度を充実させ、PRし、経済効果を更

に大きいものにしてほしい。



「医療費のお知らせ」の効果は

◎この事業に158万円がかかっている。どの自治体でも行っているのか。対象者は医療を受けたすべての人か。また、目的は何か。

〈保健課長〉全自治体

で行っており、保険加入のすべての人が対象。目的は医療費がどのくらいかかっているのか知ってほしいこと、

不正請求の確認の意味もある。

◎不正請求確認ということだが、医者に行っていないのにお知らせが来た場合「市に連絡を」の文言あるか。

〈保健課長〉入っていない。南陽市内では不正請求の実態はない。

◎必要があって医者に行く。お知らせを受けなくても行かなくていいわけでない。このお知らせの効果かわからない。無駄ではないかと思うがどうか。

〈保健課長〉医療費抑制は様々やっているが、

見ていただいて医療費がどの位かかっているかの認識をしていただければと思っている。

◎全国的に見ればかなりの金額がかかっている。医療費抑制効果は非常に疑問だ。

水道事業の給水原価アップの要因は

◎水道事業損益計算書のその他の収益3088万円と金額が多いが内容は何か。

〈上下水道課長〉手数料関係と他会計からの負担金だ。

◎給水原価が昨年比で2600万円ほどコストアップしている。有収率の低下が影響しているのか。

〈上下水道課長〉有収率の低下と人口減少で給水量も減っている。しかし、固定的経費は変わらないために原価が高くなっている。



一般質問と答弁要旨

2年続きの豪雨災害を検証 情報伝達手法の整備を



吉田 美枝 議員

◎避難勧告・指示発令に当たつての問題点と今後の課題は。

〈市長〉夜半から未明にかけて河川が増水氾濫、土砂災害が発生。人的被害を回避するため、深夜の避難勧告発令となった。深夜の避難には安全面で問題があり、今後、河川が増水もさほどでない状況の明るいうちに避難勧告を出せるかどうか大きな課題。

◎早めに避難準備情報出すなどの考慮も必要。

◎赤湯地区の広範囲な洪水は、吉野川上流部での大量の降雨が起因。吉野地区への雨量計、水位計の設置は必要不可欠ではないか。

〈危機管理課長〉雨量計は国交省山形地方気象台へ、水位計は県の整備部へ既に要望して

いる。吉野公民館から小滝までの間に雨量計、公民館前の橋付近に水位計の設置を図りたい。

◎雨量や河川の水位などの防災情報や、避難情報を容易に取得できる伝達手法である防災ラジオの整備を図ってほしい。

〈危機管理課長〉今年度予算に計上し検討してきたが、放送局との設備関係等で調整が難航している。自動電源機能装置の改修に3ヶ月かかる。赤湯地区から、同報系防災行政無線の整備要望も出されており、総合的に判断検討していきたい。

◎災害時相互応援協定及び友好姉妹都市提携推進を希望する。

〈市長〉本市にとって有益なことであり、積極的に締結推進を図っていききたい。

豪雨災害の検証と防災対策の強化を急げ！ 被災者救済基金の創設を！



片平 志朗 議員

◎インフラの強度設計が低いのでは。

〈市長〉道路や橋などの公共土木施設の設計にあたっては、関係法令の基準により行っている。建設年によって是新基準に適合しない施設がある。老朽化した橋梁については長寿命化計画に基づき改良事業を実施していく。この度の豪雨で被害を受けた県管理の吉野川、織機川については河川整備計画に基づき、降雨強度に見合う断面に改修されるものと思う。

◎被災者の生活再建を迅速にするため基金を創設し、市独自の支援金等を出してほしい。

〈市長〉自己再建が基本となる。創設にあたって被害の基準と金額設定、創設時の対象件数による財政措置、基金の積立計画等の課

題が多くある。まずは全国の事例などを検証していく。

◎食品のロス削減と生ゴミの堆肥化活用について、本市で取り組んでいることはあるのか。

〈市長〉「生ゴミ堆肥化処理器」に対して補助を行い、小規模ではあるが減量化と堆肥活用を図っている。また、活かせる食物を活用するフードバンクについては、25年に米沢市で結成されたNPO「フードバンク山形」を通じて、社会福祉協議会で4件活用した実績がある。



生ゴミ堆肥化処理器

答 弁 要 旨

新文化会館の進捗状況は 最終的な総額はいくらか

川合

猛議員



◎現在急ピッチで工事が行われているが全体の進捗状況は。

〈市長〉 8月31日現在の文化会館棟の進捗率は36%、設備等の進捗率は2%で、豪雨等の影響、作業員不足や資材の調達が難しくなっており、部分的に遅れが生じている。作業の平準化・効率化をはかり予定通り今年度中に完成の運びである。

◎現在まで執行済みの金額は。

〈市長〉 現予算額57億円に対し、執行済み額は56億5768万円となっている。主な内訳は建設工事費54億4521万円、土地造成費9296万円、測量試験費1億842万円、工事雑費1117万円となっている。

◎今後、かかる金額は、そして最終的な総額は。

〈市長〉 建設関係工事として、ホール椅子工事、舞台機構工事がある。また、昨今の建設産業状況から人件費高騰による人材確保、資材の高騰により工事に係る増額の要請があり、この点について協議中に備品購入費として舞台大道具・舞台音響・音響反射板・舞台照明・施設管理運営費・移動観覧席の各備品がある。現在精査中であり早い時期に公表したいと考えている。

◎市民の皆様は、あとどれくらいかかるのか大変心配している。いろいろな数字が一人歩きをしている。市民の皆様への不安を取り除くためにも一日も早く総額を示していただきたい。

山口

正雄議員



南陽市の身の丈とは ハイジアパーク子どもの遊び場イメージは

◎「南陽市の身の丈」の判断基準を示すのは難しいと思う。しかし、身の丈に合った職員数にするとしているが。

〈市長〉 具体的に判断基準を現わすのは難しい。庁内、議会、市民が最大公約数として共有できるイメージのものが身の丈と思う。職員数にしても、一律に判断できない。長期的視野での採用が望ましい。

◎身の丈と財政健全化は密接な関係にあるが、市内経済が冷え込んでいるとき、市が経済を牽引していく財政出動についての考えは。

〈市長〉 非常時は公共事業などで、市内経済を牽引していく必要があると考えている。

◎財政健全化指数は順位でなく、水準が重要だと思うが。

〈市長〉 実施施策が効

果的になるように、目指す目標は、県内ワーストという名前からの脱却だ。

◎政策実施による新たな支出額より、コスト削減・既存政策見直し・収入増の額が上回らなければ健全化は進まない。市長の見解は。

〈市長〉 既存事業の検証とお金を効果的に使っていく。また、公共施設を長期計画でコスト削減していく。

◎ハイジアパークの子ども遊び場とはどのようなイメージか。

〈市長〉 玄関から入った吹き抜けに高さを利用した遊具をというイメージだ。

◎向山ソフトボールB球場周辺の駐車場、トイレ整備の考えは。

〈市長〉 インターハイに向け、期待に沿えるよう前向きに検討する。



高橋 一郎 議員

どうするフラワー長井線 大胆な議論を 花公園に水遊び場と夜間照明を

◎市役所付近の土地利用の妨げになるのは、東西を分断しているフラワー長井線。

もし、これがなかったら南陽中央のみならず、宮内、梨郷まで計

り知れない土地利用が可能になる。新文化会館を含めたすばらしい街ができる。フラワー

長井線の役割は地域の足のみならず観光面でも寄与しているが、人口減少社会と高速交通網の整備で環境が変わった。鉄道施設の維持管理費用が年々増えていく。バスへの切り

替えも含めて議論すべき時であると思うが市長の考えは。

〈市長〉現在も高校生の通学や通勤、2市2町の生活路線として年間64万人が利用。地域交通として欠かせない。一方、人口減少社会等

の社会情勢の変化もある。山形県と沿線2市2町、山形鉄道株をに加え、運行体系を含めた経営改善等の議論を行っていきたい。

◎ドリームランドに水の遊び場や花公園グラウンドに夜間照明の設置。また、アウトドアス

ポーツ用多目的室内運動場の建設で、一層の賑わいの創出と交流人口の拡大が図れると思うが市長の考えは。

〈市長〉花公園エリアのスポーツレクリエーション拠点としての更なる整備は、ハイジアパークとの一体感の創出を行うとともに、水

の遊び場、夜間照明設備、加えて多目的室内運動場等についても今後調査・研究を行っていく。



田中 貞一 議員

市長の 基本姿勢について

◎本市将来のビジョンは。

〈市長〉市民の命を守ることを最優先に、青少年が健やかに育み、女性が輝き、高齢者も暮しに安心が持てるまち、企業誘致・観光・農業の振興による賑わいのまちを目指す。

◎喫緊の課題、中長期的な課題をどう捉えているか。

〈市長〉豪雨災害の早期復旧・復興に全力を注ぎ、防災のまちを目指す。人口減少への対策として3人っ子政策で途切れなく支援し、出生数の増加を目指す。また、福祉施設の待機者解消を進める。

◎地場産業の振興政策はどう捉えているか。

〈市長〉国県の補助事業も幅広く準備されているので最大限活用し、本市農業の最大の強み

である複合経営で振興を図る。新規就農者を確保し、認定農業者制度の推進により中核的農家の育成を図る。

◎お年寄りや障がいをもたれている方達の足の確保政策について。

〈市長〉公共交通機関は生活に欠かせないもの。市民の声を聞きながら不公平感のない交通政策を推進する。また、デマンド型交通の運行経費を含め長所・短所の精査をし、実施可能なエリアを設定し試験運行できるように準備を進める。

◎お年寄り世帯の出入口の除雪、排雪対策を検討すべきと思うか。

〈市長〉市道などの除雪は、近隣市町等を参考とし、高齢者に負担の少ない除雪が行えるよう調査研究を進めていく。

答 弁 要 旨

高齢者福祉の観点で 巡回バス運行を！

白鳥 雅巳 議員



◎市民巡回バス利用者が求める路線の一部変更及び停留所の設置が必要ではないか。

〈市長〉 これまでも路線・停留所については、地区や利用者からの要望に基づき、国土交通省へ申請し変更を行ってきた。今後も可能な限り検討を重ね利用者のニーズに沿ったバスの運行を図る。

◎巡回バスの維持運営に係る経費削減策は。

〈市長〉 燃料費高騰の経費増の要因から、具体的な削減には至っていない現状だが、引き続き努力をしていく。

◎この度の災害によって数か所の橋が崩落、または通行不可となっている。降雪期の除雪作業にも不具合がでると思うがその対応はどうするのか。

〈市長〉 三間通の吉野橋と小岩沢の小巖橋の2橋については応急工事が進められ、9月末には仮橋が架設され通行可能になるので、除雪作業に支障はない。また、市管理の四ツ谷橋・白山在家橋・新屋敷橋の3橋は、いずれも県との調整を図るが、今年の冬は通行止めとなる。なお、除雪計画の策定には除雪路線を見直し効率的な作業に努める。

◎子育て世帯の支援策として中学3年生までの医療費の無料化は。

〈市長〉 昨年10月から小学6年生まで拡大実施し、現在、医療費の推移の検証をしている。しかし、根強い要望も承知しているので早い時期に実施できるように準備する。

板垣致江子 議員



◎新市長として財政健全化の具体策は。

〈市長〉 26年4月に総務省から示された「新地方公会計」制度に沿って財務諸表の作成、固定資産台帳の整備に取り組み、さらに「公共施設等総合管理計画」を策定し、真に必要な公共施設の充実を図る。また、職員の適正な配置や事業の見直しなどを行うとともに長期財政計画を策定し効率的な行財政運営を心がける。

◎赤湯・宮内の観光客100万人が来るまちの復活の具体策は。菊まつりは災害や面積などの課題のある会場ではなく双松公園にもどすべきと考えるが。

〈市長〉 昔の賑わいを求め、宮内熊野門通りや新町の空き店舗に若者や知名度のある店

舗の出店を応援し、赤湯温泉の宿泊につなげたい。菊まつりは27年度の全国菊花大会の開催が体育館で決定している。その後については実行委員会で検討。

◎南陽方式少子化対策の「3人っ子政策」の具体策と取組時期は。

〈市長〉 市独自の妊娠婦検診の補助は妊娠の兆候で医療機関を受診、確定までの健診費用を新年度から実施の検診0～5才児の保育料無料化と義務教育における給食費無料化は第3子の定義や所得要件の有無など制度設計が必要。私は少子化ストッパーの動きを本市から発信したい。国の動向を注視し、市の財政計画との整合を図り具体的な制度設計に入りたい。

◎不公平感があるとの市民の声もある。

消防団員の状況は 吉野川左岸に防災センターを

高橋
一司議員



◎消防団員の確保と本市の状況は。

〈市長〉本市の現状については、置賜広域行政事務組合消防本部管内で唯一、消防団員の条約定数(89名)を確保している。これは、消防団各分団のご努力と各地区ご協力の賜物と大変ありがたく思っている。

しかし、現在の定数は、昭和62年度から変わっており、既に27年が経過し、この間人口は約4400人減少している。今後、見直しの必要性も含めて検討して参りたいと考えている。

◎市内勤務者の状況は。

〈市長〉消防団員で、市内で働かれるなど、日中市内におられる方は500人となっております。内、消防団協力事業所16事業所に勤務し

ている消防団員は83名となっている。

◎市職員の状況は。

〈市長〉市職員の消防団員は24名となっております。

◎第2防災センターの設置について。

〈市長〉各地区の防災拠点は各地区公民館と考えている。しかし、赤湯地区については、市街地の中心を流れる吉野川が2年連続で氾濫し、今年の被災は、赤湯地区の全域にわたっており、水防(消防)団等が水防活動を行うための活動拠点施設が吉野川近くに必要であると認識を新たにしている。防災センターの設置については、これまでも赤湯地区西部区長会からも要望がでており今後検討していく。

一日も早い災害の 復旧・復興対策を!

佐藤
明議員



◎「昨年の災害復旧が完了しないことが被害拡大につながった」と市長は選挙で指摘している。昨年の災害以来、議会等も「対応が遅すぎる」との指摘もあったが認識は。

〈市長〉昨年は土砂撤去など応急対策にとどまり、本格復旧は今秋からとなっていた。結果的に対応の遅れになったと認識している。

◎具体的にはどのような対策をするのか。

〈市長〉国・県と連携して復旧対策を進めるため「7.9豪雨被害対策復旧合同会議」を設置し対応していく。

◎被災された方に市として独自の支援策は。

〈市長〉床上浸水を受けた住宅で、5万円以上の修繕工事をされた方に助成率20%で、10万円を上限に助成金を

交付し対応していく。

◎余りにもお粗末すぎる国・県の災害救助法・被災者再建支援法の適用者は。

〈危機管理課長〉現在、1件である。県・国に要望していく。

◎法そのものが問題で、ハードルが高すぎる。救助法・支援法は本来被災を受けた方々を支援するもの、適用範囲・要件を下げるよう国・県に対し強く要望すべきでは。

〈市長〉国や県に対し強く要望していく。

◎市と議会で「非核・平和都市宣言」をして30年近くなる。来年は戦後70年という節目の年でもあり、次代を担う生徒たちを関係県へ派遣しては。

〈市長〉事業の見直しを含め教育委員会と協議し検討していく。

子ども・子育て支援新制度スタート 手話言語法の制定を求める請願採択

◎南陽市保育の実施に
関する条例を廃止する
条例の設定を可決

27年4月1日から施行予定の「子ども・子育て支援新制度」では、市町村が客観的基準に基づき保育の必要性を認定することになるため、これまでの児童福祉法に基づく南陽市保育の実施に関する条例を廃止するもの。新制度への移行は、宮内認



完成した「宮内認定こども園」

定子ども園と市内すべての公立・私立保育所、公立の赤湯幼稚園で、

現行の負担水準や保護者の所得に応じて定めた保育料となる。

◎手話言語法制定を求める意見書提出を求める請願を採択

手話を使う者にとっては音声言語と対等な言語であり、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段であ

る。ろう者の方が社会の中で不自由なく生活するために、手話の環境整備をすることは行政の役目であり、手話の普及によって差別的なものが無くなること

が望ましいとの意見が出された。全員一致で請願を採択。

国の関係機関に対し、手話言語法の制定を求める意見書を提出することとした。

行政視察レポート

6月30～7月2日鳥取

◆地域の地産地消で建設した木造庁舎の鳥取県日南町

農林業主体の人口5千人の小さな町が取り組む「創造的過疎のまちづくり」に学ぶ。

労働人口増を喫緊の課題とし、負担の多い



巨大木造建築物「出雲ドーム」を視察

子育て世代の負担軽減対策として、第3子以降の保育料無料化に取り組み効果を上げていた。

◆障がい者向け、情報提供システムを独自開発！鳥根県安来市

広域的に結婚支援事業に取り組み、少子化の要因の一つである未婚・晩婚化の解消を図るとともに、圏域住民の交流事業をあわせて展開していた。

聴覚障がい者、視障がい者向け、情報提供システムを独自開発

◆巨大木造建築「出雲ドーム」

日本最大級の木造建築物として、平成4年にオープン。総事業費68億円。全面人口芝、可動式ギャラリィで多目的に使用することができる。年間稼働率は90%。自然採光や通風を取り入れた素晴らしい建築物である。

(委員長 吉田 美枝)

市道2路線を認定 請願3件を採択



◎南陽市道路線の認定について

2路線を市道認定

三間通6号線及び上加津木沢団地線の2路線は民間の宅地開発により整備された道路で、この度、市に帰属される市道として認定するもの。

現地調査を行い審査した結果、いずれも可決認定した。



市道認定路線現場調査

請願3件はすべて採択し国に意見書を提出

◎「雇用の安定を求める請願」について

6月議会において継続審査とし調査検討を重ねてきたが、審査の結果異議なく採択した。

◎「農政改革の再検討と緊急の過剰米処理を求める請願」について

農政の担い手の育成とこれを支援する諸制度の充実、農業委員会・農協の役割の強化、食料自給率の向上、過剰米処理を行う等の請願内容。全員異議なく採択した。

◎「米価下落等に関する意見書提出方請願」について

過剰米活用の方策を早急に講ずること。需要拡大対策、また、水田農業対策は再生可能な制度設計と予算を明確にし、全販売農家が参画する万全な措置を講ずる等の請願内容。全員異議なく採択した。

行政視察レポート

7月22～24日北海道へ行政視察

◆農家レストランで6次産業確立「花茶」

千歳市では、行列のできる農家レストラン「花茶」を視察。自作の野菜で作ったアイスクリームは20種類ある。人気商品のピザは代表の息子さんが本場イタリアに行き修業してきたほどで活況を呈していた。



農家レストラン「花茶」

◆バイオマスエネルギーで町の6割を賄う

バイオマス産業都市下川町を視察。町の面積の88%が森林で豊富な資源を生かし、チップに粉碎しバイオマスボイラーの燃料使用。町の公共施設の熱エネルギーの60%をまかなっている。



下川町木質バイオマスチップ工場

◆一大パノラマは北海道の魅力

美瑛町、富良野町を視察。



ファーム富田一大パノラマ

パッチワークの丘、ラベンダー畑を生かした大パノラマは観光客の目を引き付ける。私たちが視察したファーム富田は、年々規模を拡大し北海道の魅力を発信し続けている。また、莫大な設備投資をしながら、入場料が無料であることが、誰でも気軽に訪れる理由にもなっている。

(委員長 川合 猛)

総務 常任委員会

行政視察レポート

7月1～3日兵庫県、

京都府へ行政視察

◆歴史ある北条鉄道

市民に支えられるも客足延びず。

兵庫県加西市

加西市では、北条鉄道株式会社第三セクター運営での現状と課題について研修した。

営業距離13.6km、駅数8駅の鉄道だが、その内5駅が国の登録文化財となっている。

地域住民のボランティア作業や寄付によるトイレや花壇、石庭自転車置き場の整備等がなされていた。また、三重塔の寄贈などもあり、市民がこの鉄道をととても大切にし、守っていることが感じられた。しかし、利用者は高校性が55%で通勤者が5%と厳しく、市内

各戸に3か月に1枚の片道利用券を発行し「応援は年1回の乗車から」とのキャンペーンを実施し徐々に利用者は増加傾向にあるとのこと。同じローカル線の長井線と重ねながらの研修となった。

◆デマンドバスで高齢者の足を確保

京都府南丹市

過疎化や高齢化の進行によって移動手段をどのように確保するか問題となり、それらを解決する施策としてデマンドバスの運行を実証実験を経て導入。定まった路線上であればバス停でなくとも乗降でき、路線バスで入れない集落へもタクシードで運行可能としていた。今後は本市においても必要な施策ではと感じた。

(委員長 白鳥 雅巳)

研修会レポート

県市議会議長会

議員研修会

戦国武将に学ぶ

リーダーシップ

8月12日、研修会に参加した。演題は「戦国武将に学ぶリーダーシップ」

講師は静岡大学名誉教授の小和田哲男氏。

今、放映中のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」ははじめ数多くのドラマの時代考証をつとめられた。

戦国の優れた武将達にも、多くの失敗の経験があり、その反省を次の戦いに生かしてきたことや、部下のやる気を引き出し、適材適所の人事配置に工夫したことなど、現代に置き換え分かりやすく講演された。今放映中の「軍師官兵衛」において

は、情報に裏づけされた的確な判断や、決して高望みをしないでナンバー2に徹したりリーダーだったと語られた。剣道の大先生がある講話で「武士の三則」について語られたことを思い出した。

一、正義 二、廉恥 三、礼節

紙面の都合で詳しくは説明できないが、戦国の武将達は、常に生死の狭間で己を磨いてきたのだと思った。我々議員も戦国武将に学び、常に己を正して活動したいものだ。

(片平 志朗)

置賜三市議員交流
研修会

震災より3年半

インフラの整備

着々進む

8月18日、米沢市を会場に、2人の講師をお迎えし南陽市・米沢市・長井市の議員交流研修会が開催された。

はじめに国土交通省東北地方整備局企画部調整官の手塚寛之氏より「震災復興の現状と最近の話題」と題してお話をいただいた。

復旧道路・復旧支援道路は開通区間を含め約6割(327km)の開通見通しが確定。仙台南部湾岸堤防復旧は約20kmの7割が復旧完了。

また、今年度発注工事の達成率は東北6県の全工種では98%が契約済み。被災3県では94%の進捗状況とお聞



県議長会研修会「山形ビッグウイング」

きました。

つづいて、山形河川工事国道事務所長の井上圭介氏より「山形県の事業概要」と題して、7月9・10日の出水、降雨の概要や南陽市の吉野川氾濫の災害に対する支援状況、また東北中央自動車道や国道113号梨郷道路などの進捗状況をお聞きした。

その後の質疑応答では地元に関する課題など、活発に意見が出された。

(板垣致江子)



建設中の梨郷道路（東側をのぞむ）

議案に対する議員の賛否表（賛否が分かれたもののみ）

議案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	氏名	会派	高橋一司	高橋真	船山利美	山口正雄	白鳥雅巳	片平志朗	吉田美枝	梅川信治	川合猛	高橋弘	板垣致江子	高橋篤	田中貞一	遠藤榮吉	佐藤明	伊藤俊美	殿岡和郎
25年度一般会計歳入歳出決算の認定			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 X=反対 議・監=議長・議員選出の監査委員は採決に加わらない
会派：希=希望 新=新国会 保=保守・公明クラブ 倫=倫政会 真=真風会 無=会派に属さない議員

災害関連に10億1600万円 復旧に全力上げて 「災害対策特別委員会」を設置

第3回 臨時会

8月4日第3回臨時会を開催。豪雨災害復旧関連補正予算を審議した。専決処分と合わせて10億1600万円を承認可決した。また議員発議で「災害対策特別委員会」を設置し、委員長に殿岡和郎議員を選出した。欠員になっていた産業建設常任委員会と議会報編集委員に、高橋一司議員が就任した。

この度の水害で被災されました市民皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

昨年の7月18日・22

日の豪雨災害は、昭和31年7月以来、57年振りと言われております。災害は忘れたところにやってくるどころか、

今年の7月9日の2年連続の大災害はまさに、予想だにしないもので、昨年以上に市民皆様に痛手を与えたわけです。この大災害から一日も早く復旧し、市民の安心、安全を守ることこそ、急務であると考えます。

南陽市では、8月4日、白岩市政で初めての臨時会を開き、早速災害対策特別委員会を設置いたしました。

今、委員会では、市内の災害現場を視察検証すると同時に、市民の相談に対応し、特に市内8地区で実施

されている防災座談会に委員全員が出席し、市民の生の声を聞き、被災者の一日も早い復興と生活再建など、積極的な提言を行い、市政をただしてまいります。(委員長 殿岡和郎)

新人議員紹介



産業建設常任委員会委員
議会報編集委員

高橋 一司 議員

精一杯努めますので、ご指導のほど宜しくお願いします。

委員	殿岡 和郎	委員	船山 利美
副委員長	川合 猛	委員	吉田 美枝
委員	高橋 一郎	委員	高橋 篤

【災害対策特別委員】



防災座談会で意見を聞く委員達

子育て支援都市南陽市に望む

南陽市三間通 鏡 美樹子

私たちは昨年末まで米沢市に住んでいました。現在、小学生と3歳児の2人の子育てをしています。南陽市は子育て支援を謳っていたので、子育てをしやすい環境なのだろうと期待して来ました。しかし、転入時に保育園はいっぱい受け入れできないと言われ途方に暮れました。一時的に預けられるところが



無いことも困りました。結局、幼稚園入園までの3ヶ月間は、米沢で通っていた保育園に片道50分かけて送迎をしました。年度途中であっても入園等については、もう少し寛容な体制をとってほしいと思います。

また、学童も米沢市では8時〜19時(延長なし)まで預かってもらえたのが、南陽市で

は8時〜18時30分(内延長30分)という現状でした。私たちは核家族の共働きで、この預かり時間では、冬の悪天候時や忙しい時期はとでも厳しく、もう少し長くしてもらえたらとても助かります。

一方で、南陽市に住んでみて良かったと思うところもたくさんあります。「子育てするなら南陽市！」と市外へ胸を張ってPRできる市になるよう議会としてもご尽力いただきたいと思えます。

市議会議員の皆様たちとソフトをして

宮内中学校二年 川崎 麻友子

私たち宮内中学校ソフトボール部は、8月6日に向山ソフト場で、市議会議員の皆様と親善試合をさせていただきました。

はじめで大人の方と試合を行うということもあり、部員みんな少し緊張していましたが、市議会議員の方々から「がんばりましょうね。楽しみましょう、よろしくお願いします。」とおっしゃっていただき

緊張もほぐれ、とても楽しく親善試合をさせていただきました。



表紙の写真

9月13日から赤湯温泉ふるさと祭りが行われた。子供神輿、小中神輿、男、女神輿で盛り上がり、翌14日若者獅子が市内の辻つじで厄払いを行い、夜には暴れ獅子太鼓と競演、地元や観光客の声援で大いに賑わった。

(編集委員 高橋 一司)

市議会議員の皆様と試合ができるという貴重な体験ができとても嬉しく思います。

今回の経験やその時いただいた激励の品を活かし、私たち宮内中ソフトボール部は地区新人大会に向けて、部員全員優勝を目指して日々努力していきます。このような機会を設けていただき、本当にありがとうございます。

編集後記

お彼岸が過ぎ、何事も無かったかのように、あたりの田んぼは実りの秋を迎えています。全国的な異常気象は異常でなくなる時代へ突入したのかも……? ならば、治山治水対策も当然ですが、早めに自主避難を判断する勇気も必要です。

7月の補欠選挙で当選された高橋一司議員が加わりました。これから一緒にがんばりましょう。(片平)

- 委員長 高橋 一郎
- 副委員長 船山 利美
- 委員 高橋 一司
- 山口 正雄
- 片平 志朗
- 板垣致江子

